

◎電源が切れてしまった場合の復帰方法

注意例 ①



毛足の長い絨毯
(ジュウタン)や、
厚手のマットの上では
使用しないで下さい。

注意例 ②



暖房器にタオルや
毛布などを被せない
で下さい。

◎安全装置の正しい復帰方法の手順

- ① 電源スイッチを「入」にしても電源ランプが点灯しない場合、
電源スイッチを「切」にしてからコンセントプラグを抜き、
異常の原因を取り除いてください。

※ 復帰処理は暖房器本体が十分に冷めて(約20分)から行ってください。



電源ランプ
消灯状態

- ② スリット(切り込み)の位置を確認してください。
(左右各一ヶ所にあります。)

本体天面に収納されている
サーモ復帰レバーを引き抜きます。



スリット位置



サーモ
復帰レバー
収納箇所。



中央ポッチ
(赤矢印)。

- ③ スリットにサーモ復帰レバーを差し込みます。
中央のポッチ(突起)部分まで、
下から斜め上方向に差し込みます。



④は赤丸部分の
スイッチを押し下
げる作業を行っ
ています。

- ④ 差し込んだレバーの端を上方向に持ち上げ、
「カチッ」という音を確認してください。
この操作を左右のスリットで行います。



電源ランプ
点灯状態

- ⑤ コンセントプラグを差し込み、電源を入れ直し、電源ランプ
が点灯したら安全装置が復帰し、使用可能となります。
※ 忘れずに、「サーモ復帰レバー」を元の収納場所に戻してください。

◎正しい使い方の事例 ※取扱説明書と一緒に大切に保管してください。

暖房器内に熱がこもらないように、
下に隙間ができる場所でお使い下さい。
(フローリングの床、畳、台の上など。)

